

夏休みに突入しましたね。子どもたちはワクワクしている一方で
保護者様は長い夏休みを子どもとどう過ごそうかと考え、
準備に余念がないところではないでしょうか。
今回はそんな長い休みだからこそ、ぜひお試しいただきたい内容です。
ご一読いただけると嬉しいです。

思春期の子どもたちとどう向き合う？

まずは、思春期の基本をおさらいして、
どのように子どもの変化を見守っていけばいい
のか、どのように向き合っていけばいいのか？
を大きく捉えていきたいと思います。

発達支援現場でも思春期に突入した子どもたち
とよく出会います。
そういった際、実はこんな風に予想を巡らせて
支援をしています。

思春期とは、小学校高学年のころから始
まる**第2次性徴**の出現などの児童期から成
人期へと移行する中間の時期。**青年期**とほ
ぼ同義だが、思春期という場合には性的成
熟に焦点が合わされる。

それに伴い感受性や気分の高揚、それま
で未分化に結びついていた環境からの分
化・独立に起因する不安・動揺がみられ、こ
れらは**第2反抗期**と呼ばれる。

- ① 自立について悩んでないかな？
他人と比べすぎてないかな？
不安になってないかな？
自信を失ってないかな？



- ② フラストレーションが
噴出してないかな？



- ③ 自分の身体や心がどのようになっ
ているかのわかっているかな？
変化に戸惑ってないかな？

- ④ 親子間に亀裂が
入ってないかな？



実はこれらが思春期の
「あるある」なんです。

思春期の事を分かっていても上手くいかない。。。どうして？

◎親は、
思春期に入った子どもに対して、「自分の子育てが悪いから、こうなっている…」と思ってしまって、もっと子どもをコントロールしないといけないと思いがちです。

◎思春期の子どもは、
大人と対等に扱われたいと思っています。正論や説教は受け入れたくない、誉め言葉がうざいと思っています。

だから、対話にならなかったり、かみ合わなかったりします。



そんな時、
この様なスタンスの声掛けをしてみてください。

【信じているよ。任せているよ。応援してるよ。】

思春期の子どもの心理上、言葉が届きやすくなります。(例:「リビングが涼しいよ。こっちに来ていいよ。どうする?」

「やる気でなくなった?」)



頭ごなしでなく、

こんなスタンスで声掛けをして、

『子どもを信頼はしているが、任せっきりでなく、いい距離感で見守っていること!』

これが大切です。

思春期=子どもとの信頼関係が最も大事な時期と言えます。

まだまだお伝えしたいことが、紙面2頁には収まらないほど、たくさんあります。気になることがあれば何でも事業所までご連絡ください。お母さまだけでなく、お父様もお気軽にどうぞ。お待ちしております。

7月の宝塚教室のひとコマ

先日、
夏休み期間中の「講座・イベント案内」をお配りしていると
低学年さんが「夏休み何があるの?」と尋ねてくれました。一方、
思春期のお子さんは「参加せーへんで」と言い放ち、興味のない素振りを見せていました。
が、その後で、自席でプリントをじっくり読んでいる姿を発見。
クールな自分を演出しながらも、ありのままの姿を垣間見せてくれたことに
職員は心ななせました。「参加してくれるといいなあ」と密かに思っています ♡



★チャレンジ・キッズ宝塚では、子育て相談・ペアレントトレーニングを随時受け付けております。

お気軽にお問い合わせください。

TEL: 0797-75-1510

Mail: challengebase2016@gmail.com

※暑さがピークです。引き続き、どうぞ沢山の水分を持たせてあげてくださいね 😊